

神戸に着いたのは朝の九時頃だった。驛に學生や其の他七八人迎ひに来てゐた。

荷物を持ちませうと言ふ。

基督教の青年會館まで歩いて行つた。

加藤一夫は岡山へ先に行つて、もうおつつけ歸つて来る筈だそうだった。

便所へゆくと西洋流だった。

「印刷したピラを書籍店や辻々に貼つてあるのだが、此の紙に一つ違筆を振るつて下さい入り口に立てとくので」と學生が筆と墨を持つて来る。

新参加辯者 高橋新吉

同 加藤一夫

とヌタ来る。

そして荷物は置いといて、何區かの角の支那料理屋へみんなして行つて支那の酒をのんだり支那料理を饜腹食つた。

佐野ケサミは外から錠を下るされたとかで迷ひ子になつて、學生が連れに行つて遅れて来る。